

第6学年 国語科

まつさかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習目標】

- ・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え方を広げることができるようとする。
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「国語六 創造」	(光村図書)
	「小学書写六年」	(日本文教出版)
副教材	漢字ドリル 漢字ドリルノート	(教育同人社)
	漢字の力だめし	(教育同人社)
	よむYOMUワークシート	(読売新聞社)

持ち物		
教科書	ノート	漢字ドリル
漢字ノート	国語辞典	漢字辞典
習字道具		

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べる等予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】(☆は書写)

前 期	後 期
○つないで、つないで、一つのお話 ○春の河 I. 帰り道 ○聞いて、考えを深めよう 2. 笑うから楽しい／時計の時間と心の時間 ○たのしみは／天地の文 ○私たちにできること ○私と本／森へ ○せんねん まんねん 3. やまなし／イーハトーヴの夢	☆書くせいと用具のあつかい方 ☆字形を整えるポイント ☆部分の組み立て方「仲間」 ☆三つの部分の組み立て方①「湖」 ☆三つの部分の組み立て方② ☆まちがえやすい筆順 ☆点画のつながりと筆順「飛ぶ」 ☆行の中心と字間・行間 ☆文字の大きさと余白「名月や…」
	○みんなで楽しく過ごすために／伝えにくいことを伝える 4.『鳥獣戯画』を読む ○日本文化を発信しよう／古典芸能の世界 5.狂言 柿山伏／「柿山伏」について ○大切にしたい言葉 ○詩を朗読してしゃかいいしよう 6.メディアと人間社会／大切な人と深くつながるために ○思い出を言葉に／今、私は、ぼくは 7.海の命 ○中学校へつなげよう／生きる／今、あなたに考えてほしいこと
	☆配列「夕やけ雲」 ☆目的に合った筆記具 ☆六年生のまとめ「永遠」 ☆自分の力で「世界」「伝統文化」 ☆書き初め「豊かな心」「希望の朝」 ☆手書き文字と活字 ☆平仮名と片仮名ができるまで

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法	
・ 知識の能う	ことば 言葉	文字を丁寧に書く。(書写)	書写の作品(毛筆・硬筆) ノート 漢字ノート 漢字ドリル
		習った漢字を正しく書く。	単元テスト 漢字小テスト ワークシート ノート 漢字ノート 漢字ドリル
		ことばのきまりが分かる。	単元テスト ワークシート ノートのまとめ方
・ 思考・表現・判断	はな 話す	筋道をはっきりさせて話す。	発言・発表 授業の様子 スピーチ
		思いや考えが伝わるように音読する。	授業での音読 音読カード 音読テスト
	き 聞く	話し手の意図を考えながら聞く。	発言・発表 授業の様子 単元テスト(聞くテスト) ノートのまとめ方
		自分の考え方や行動を豊かに表現する。	作文 ノートのまとめ方 ふり返り ワークシート 単元テスト
	よ 読む	内容を正確に読み取る。	発言・発表 授業の様子 単元テスト よむYOMUワークシート ノートのまとめ方
取り組む態度	たいど 態度	主体的に国語の学習にとりくむ。 ・進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 ・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考え方を広げようしたりしている。	発言・発表 授業の様子 読書の記録 スピーチ 作文 ふり返り ノートのまとめ方